

休日の運動部活動の地域移行 取組紹介

スポーツ課

○飯島町の取組

昨年度より、地域運動部活動推進事業の実践研究校（地域）である飯島町立飯島中学校では、既存のスポーツ団体と連携し、受け皿となる団体を設立した地域移行の取組みを進めている。

【組織発足までの経過】

① 検討会議等の開催（3回実施）

第1回：地域移行について説明（県スポーツ課）、部活動の現状

〔現状〕○部活動に取り組む熱心な生徒が多い○顧問により経験の差がある○保護者の期待が大きく、既存の社会体育活動も盛んに行われている（地域移行を機に、指針に沿った適正な活動に転換したい）

第2回：課題や今後のスケジュール等の検討

〔検討課題〕○組織の在り方○意識作り（保護者や地域の理解等）○社会体育活動との関係○今後の進め方等

第3回：運営組織等に係る検討

〔内容〕○名称○組織○指導者に関する整備○部活動や既存の社会体育との調整 等

◇参加メンバー： 教育長、町教委、中学校長・教頭、県スポーツ課（第1回・第3回）

→ スポーツ団体連絡協議会との調整等を経て、運営組織等に係りさらに検討（町教委・学校）

② 事前説明会（学校内のスポーツ文化活動運営委員会）の開催

〔内容〕地域移行に係る取組の説明（教育長・町教委・学校）と協議

◇参加メンバー： 教育長、学校長、部活動主任、町教委、部活動保護者会長、小中PTA会長等

③ 運営団体「飯島プラス1クラブ(IPOC)」発足会及び保護者説明会の開催

※飯島プラス1クラブ(IPOC)

【組織】

代表：少年スポーツ団体連絡協議会長

運営委員：社会体育部少年団体代表等

事務局長：町教委

会計：町教委

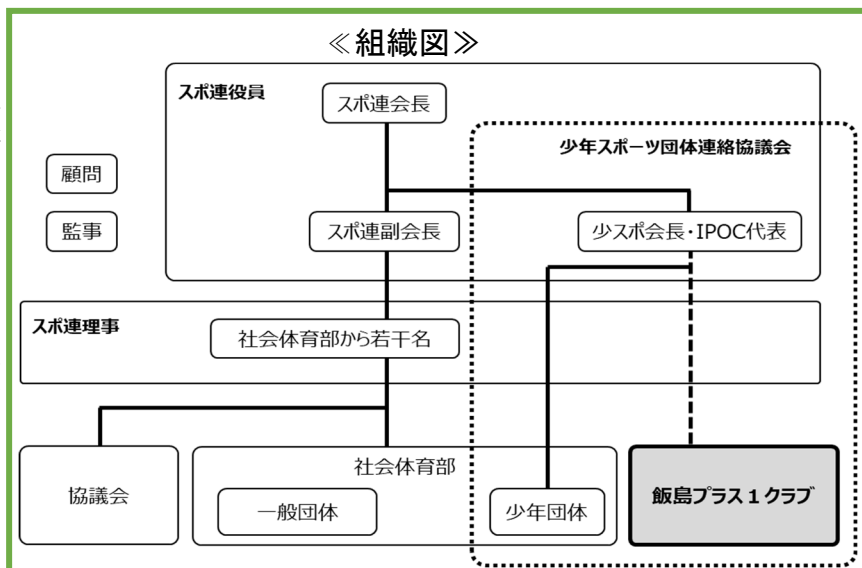
監事：町スポーツ連絡協議会

顧問・参与：町長、町議会議員

【組織の特徴】

○地域の既存組織（スポーツ団体連絡協議会）内の社会体育部の少年団体部署と連携を図り、新たに「少年スポーツ団体連絡協議会」設立。

○その中に、受け皿となる運営団体として同クラブを創設。



【現在の活動状況】

軟式野球、女子バレー、サッカー、ソフトテニス、女子バスケ、男子バスケの6競技で地域の指導者（教員の兼職兼業を含む）によるスポーツ活動を行っている。

【「飯島プラス1クラブ」の目指す姿 ～発足案内より～】

○**スチューデントファースト（生徒が求める活動を維持できる）環境の構築**

生徒の希望に応じた活動を支え、体制を整備していく

○**地域指導者による充実した休日（土日）の活動指導**

部活動指針を踏まえた充実した活動を図り、生徒の競技力向上を目指す
地域指導者と教員との連携、指導による生徒の成長を図る

○**様々な人との関わりから、多様な価値観を認められる人間形成**

生徒が多様な価値観を認め、自己を確立し、人間形成の面からの成長を図る

○**世代を超えて相互に関わり合い、お互いに成長できる体制作り**

すべての世代がひとつの団体を組織し、相互に良い影響を与えながら成長できる
児童生徒が、いずれ地域指導者として戻ること、継続した体制づくりを目指す

【今後の課題】

・安定した組織づくり（責任を負える体制、組織の役職や人選、財源の確保等）

・地域指導者の確保（近隣市町村との連携、競技数の検討等） 等